

背景：言葉のイメージを持たず、あたらしい言葉を習得しづらい子が増えた。

1 昔の日本の生活から美意識を知る



昔の日本の生活をpptで紹介するだけでなく、着物をつくる過程を例に「質素」「もったいない」を実感してもらおう。その上で「はんなり」「わびさび」「いき」という日本の美意識についても知る。紙芝居を読んで「いき」を感じる部分を見つけてもらう。

✔ pptは、なるべく文字が少ないものを用意。画面の切替時間など子どもを飽きさせない工夫がある。対話を盛り込んだ進行なので、参加者の学年に応じて、深度や内容を変更できる。学年混合も対応可。

△
3
時間
▽

2 「和」のこころを感じるゲーム大会



「和」とは、みんなで力を合わせること。それをテーマにして行う、楽しいゲーム大会。つい熱中して、友達への声かけがきつくなりそうな時も、「和」というテーマがあることで、どんな声かけをするとみんなが前向きに気持ちを1つにできるかを考えて楽しめた。

✔ 時間や人数により、ゲームの種類や数を変更できる。

1 外国人観光客へインタビュー



昔の日本人の美意識「こころ」を学んだあと、現代の私たちの中にある「こころ」を探りに、外国人観光客へインタビューをした。相手がどう感じるかを想像しながら行い、子どもたち自身が達成感と成長を感じた体験となった。

✔ 英語フレーズの練習や役割決めを事前しておくことで、心積りができて自信を持って行動できる。

△
半
日
▽

2 「はんなり」を感じる



「はんなり」を体験することも目的の1つ。抹茶の野点体験も行なった。

✔ 茶菓子の楽しみもあり、わくわくしながら礼儀作法も学ぶ。